

**事前掲載版・事前のお知らせがあります！**

# OSSの最新の動向と 企業におけるOSSガバナンス

株式会社オージス総研  
グローバルビジネスサービス部  
吉井 雅人

当社展示ブースにて、「OSS診断」を実施いたします。先着10名様まで受け付けいたします。診断料は無料です。詳しくは次のページをご覧ください。

OSC会期中、オージス総研展示ブースにて、「**即興OSS診断**」を実施いたします。検査を希望されるソフトウェアを会場までお持ちください。

診断料は**無料**です。

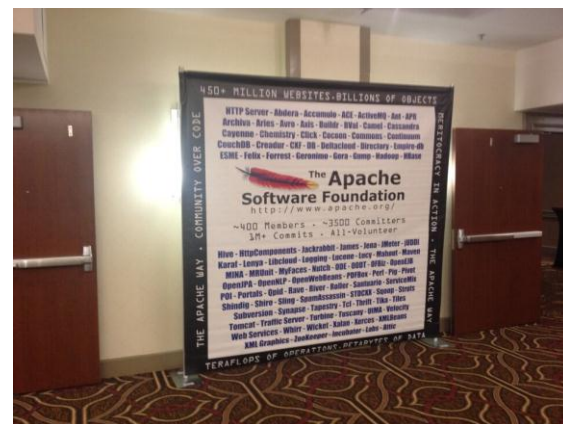
- ・OSS診断とは、開発したソフトウェアに含まれるOSSとそのライセンスを可視化するサービスです。診断ツールは、OSS自動検出ツール「Palamida」を使用します。
- ・診断対象ソフトウェアは、開発途中やソフトウェアの一部でも診断可能です(ビルドや実行ができなくてもOKです)。ソースコードやライブラリをUSBメモリ・CD-R等にてご持参ください。
- ・各日先着**10名様**まで、お1人の診断対象ファイル数は**300ファイル**までとさせていただきます。申し込みは当社ブースまでお越しください。
- ・診断結果はその場でご覧いただきます。診断終了後、データは削除いたします。

OSS最新動向

日本のOSS管理傾向

OSSガバナンスの実際

- ASF(Apache Software Foundation) においては強いライセンス(GPLなど)でなくてもOSSの生態系を維持できる仕組みがある
- Web関連のOSSではコミュニティ側もユーザ側も弱いライセンスを求めているケースもある
- とはいえGPLは全体の約60%で、今後も高い割合を維持することが予想される
  - ライセンスが更に淘汰される可能性



- Permissive なライセンスの増加
- GitHubの普及により、不明なライセンスのOSSが大量に出現
- クラウドの普及とそれに対するAGPLの適用
- 商用コードの流出
  - Hackchina
- Q&Aサイトでのライセンス問題
  - CodeProject
  - StackOverflow

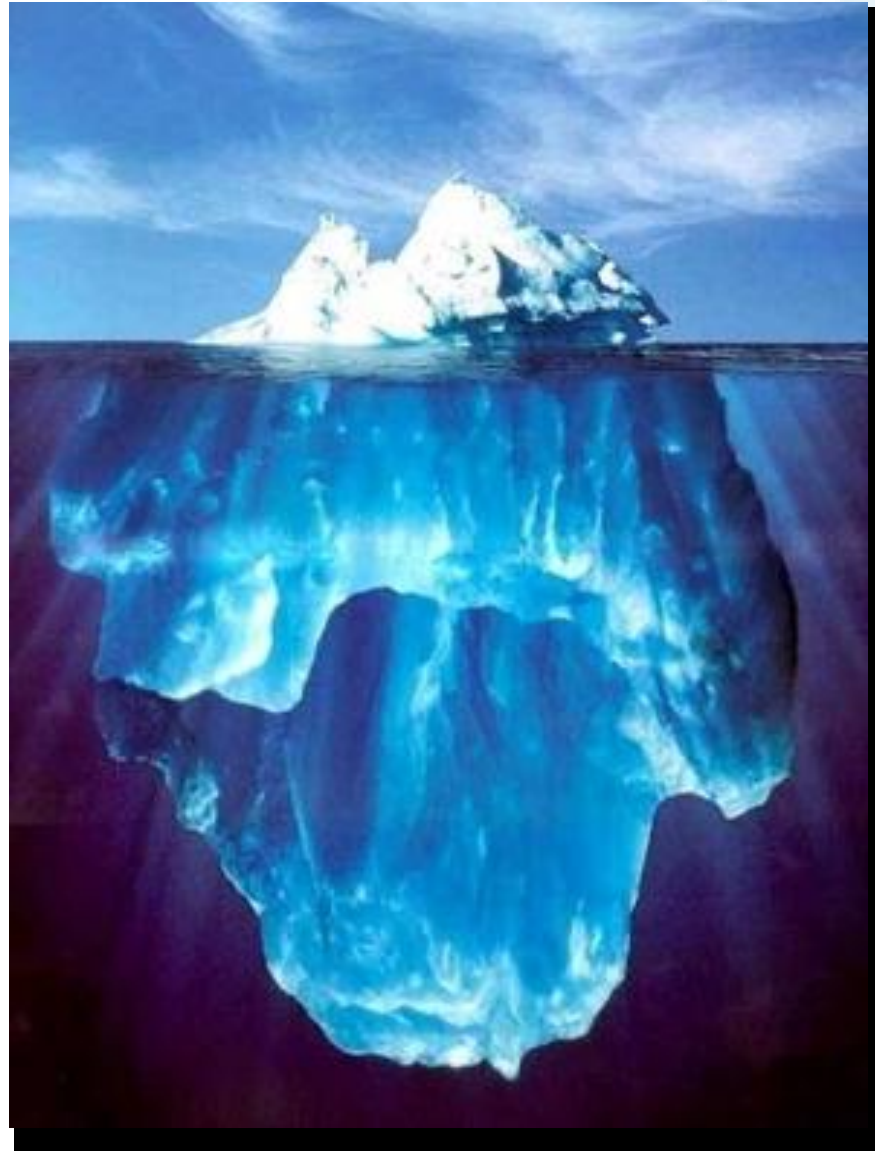


OSS最新動向

日本のOSS管理傾向

OSSガバナンスの実際

- 品質保証部が主導
- プロジェクトごとにポリシーを決定
- 製品受け入れ(納品)検査時に実施
- Permissive なライセンスの利用





OSS最新動向  
日本のOSS管理傾向  
**OSSガバナンスの実際**

## ■ポリシーの策定

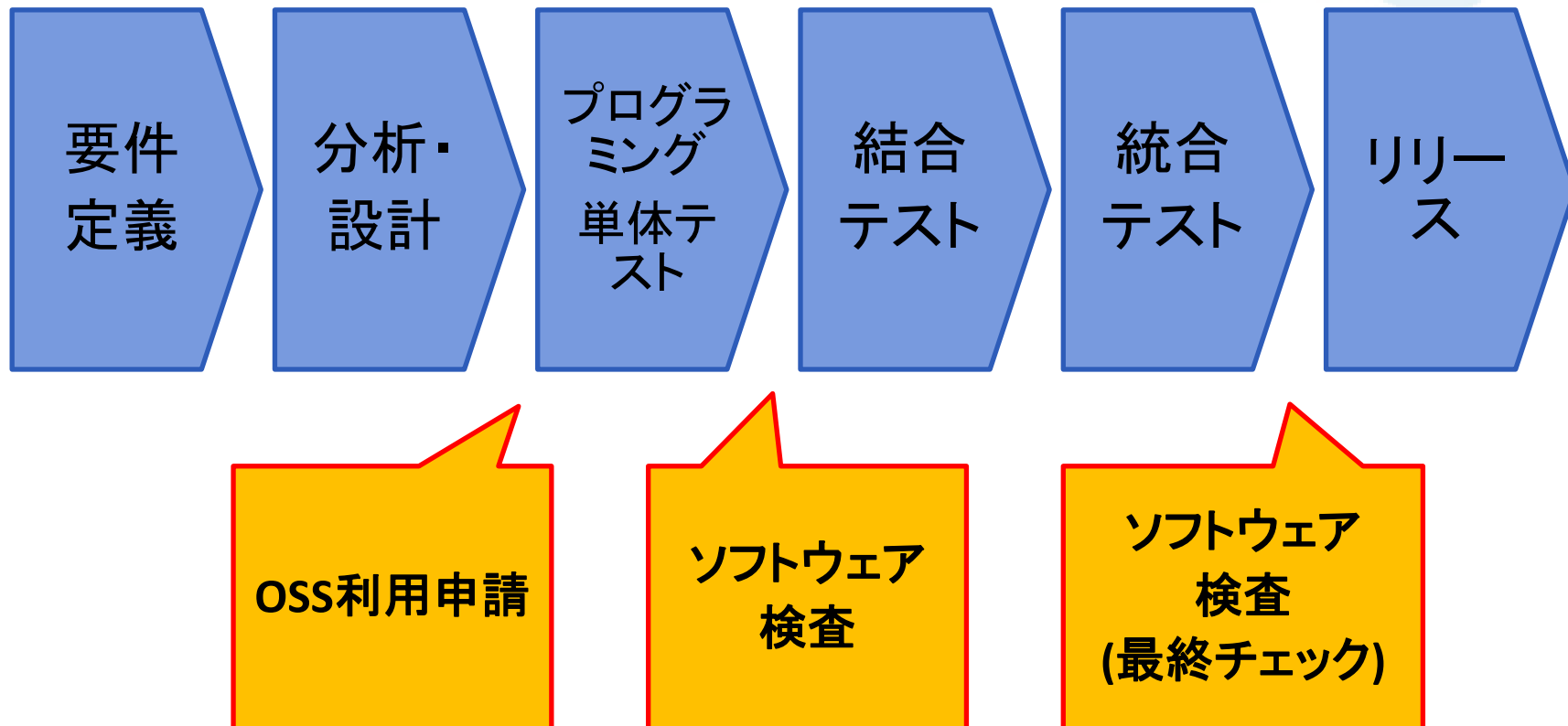
- OSSの利用の仕方と、どこまでソフトウェアを配布するかによって決定

## ■ソフトウェアの検査

- 利用しているOSSとそのライセンスの特定

## ■ライセンス条件の遵守

- OSSライセンスの利用条件を把握



■ BSD License 類型

■ LGPL・MPL類型

■ GPL類型



- 会社の文化を変える。教育、啓蒙活動
- ソフトウェアの中身を可視化すること。  
正確なBOMを作ること
- ライセンスの条件と、利用方法のメトリックスを作る



米国の取り組みも日本と同じ！



Thank you

Questions ?